

## H20/H21 年度に募集する GCOE 人材育成プログラムの事業について

平成20年12月9日(一部改訂)

GCOE 拠点リーダー 環境科学院 山中康裕

以下の内容は、来年4月以降の募集の際には変更される可能性があります。

応募対象：環境科学院 4 専攻および農学院環境資源学専攻に属している修士課程学生、博士後期課程学生、主参画している教員の下若手研究者(博士研究員等)、主参画している若手教員(特任教員を含む)および教員。なお、博士後期課程学生が応募資格となっているものは、旅行、招聘、企画実施の時点で博士後期課程学生であれば応募できます。

### 平成20年12月に公募する事業(c～g)

#### (c) H20/H21 国際学会・ワークショップ等参加支援

応募資格：博士後期課程学生・若手研究者・若手教員

募集時期：H20 年 12 月(対象期間：H21 年 2 月～H21 年 8 月)

4 月(H21 年 6 月～H21 年 12 月)・8 月(H21 年 10 月～H22 年 4 月)にも募集予定。

不採択となった次回募集対象期間内の応募は次回も審査する(キャリアオーバー)。

審査基準・支給額：海外での国際学会等での初めての発表を優先して採択。「航空券+宿泊北大規定額 50%」を基準とし、35 万円を上限とした打ち切り支給を行う。北大規定額を超えなければ会議参加費相当も加える。年間 40 件程度採択予定。

#### (d) H20/H21 海外交流・海外調査支援(旧海外派遣支援)

応募資格：博士後期課程学生・若手研究者・若手教員

募集時期：H20 年 12 月(対象期間：H21 年 2 月～H22 年 3 月)

6 月(H21 年 8 月～H22 年 9 月)にも募集予定。

不採択となった次回募集対象期間内の応募は次回も審査する(キャリアオーバー)。

審査方法・支給額：海外交流と海外調査毎に申請書を用意し、審査を行い、必要に応じて追加質問する。「航空券+実費宿泊費最長1ヶ月分」を基準とし、70 万円を上限として打ち切り支給する。滞在期間は 2 週間～6 ヶ月間(標準的には 1～2 ヶ月間)。年間 20 件程度採択予定。

#### (e) H20/H21 海外研究者招聘 A, B

応募資格：博士後期課程学生・若手研究者・教員

募集時期：H20 年 12 月(対象期間：H21 年 2 月～H21 年 8 月)

4 月(H21 年 6 月～H21 年 12 月)・8 月(H21 年 10 月～H22 年 4 月)にも募集予定。

不採択となった次回募集対象期間内の応募は次回も審査する(キャリアオーバー)。

募集内容・支給額：海外研究者(学生も含む)を招聘する旅費の支援。海外招聘 A(1名が 2 週間～2 ヶ月程度滞在、滞在期間中に講義・セミナー)・海外招聘 B(数名以内が国際ワークショップなどのために滞在。当該ワークショップを GCOE 主催・共催と位置づける)に分ける。「航空券+宿泊北大規定額」を基準とし、120 万円を上限とする。原則として 5 専攻教員・学生向けのセミナーを義務づける。年間 9 件程度採択予定。

(f) H20/H21 国内研究者招聘

応募資格： 修士課程および博士後期課程学生(規定修了年数を越えない)

募集時期： H20 年 12 月(対象期間: H21 年 2 月～H21 年 8 月)

4 月(H21 年 6 月～H21 年 12 月)・8 月(H21 年 10 月～H22 年 4 月)にも募集予定。  
不採択となった次回募集対象期間内の応募は次回も審査する(キャリアオーバー)。

募集内容・支給額: ワークショップなどに数名以内の国内研究者を招聘する旅費の支援(当該ワークショップなどを GCOE 主催・共催と位置づける)。「航空券+宿泊北大規定額」を基準とし、20 万円を上限とする。他大学の学生旅費は支援しない。原則として 5 専攻教員・学生向けのセミナーを義務づける。年間 7 件程度採択予定。

(g) H21 人材育成自由企画 A, B

応募資格： 博士後期課程学生・若手研究者・教員

募集時期： H20 年 12 月(対象期間: H21 年 2 月～H22 年 3 月)。自由企画 B に関しては 4 月・8 月に追加募集予定。

募集内容・支給額: 自由企画 A(交付申請に組み込むような 50 万円以上の備品を伴うもの 500 万円以内)・自由企画 B(50 万円未満の備品を伴うもの 100 万円以内)に分かれる。他の人材育成プログラムに当てはまらない、人材育成に関わる優れた提案(A については複数の学生・教員の提案を重視)。備品を購入する場合は、H20 年度中に購入することが歓迎される。趣旨、企画内容、予算措置などをフリーフォーマット(A4 1～2 ページ)で提案を受付、面接、再提案などを経て採択。自由企画 A 5 件・自由企画 B 年間 8 件程度採択予定。

平成20年12月には公募しない事業(a～b)

(a) H21 年度次世代研究者育成プログラム(GCOE-RA)

募集時期： 4 月 (10 月入学 D1 のみを対象に半年間 RA 雇用を 10 月に募集予定)

応募資格： 博士後期課程学生(在籍年数 3 年を越えない)

審査基準・審査方法・支給額： 基本的に H20 年度と同様

(b) H21 年度若手研究者公募研究助成

応募資格： 博士後期課程学生・若手研究者

募集時期： 4 月

審査基準・審査方法・支給額： 基本的に H20 年度と同様(申請書の記入項目が追加されます)

なお、留学生に関しては、留学生委員会を通じた RA(本学の特待生制度利用も含む)などを計画中です。

また、人材育成プログラムではありませんが、若手教員(H21 年 4 月 1 日時点で年齢 40 才未満、特任教員を含む)に対して、備品購入を含めた「H20 若手教員研究支援」(400 万円以内)を今年度のみ、12 月募集と同時に進行予定です。

平成20年12月募集の正式な募集要項、申請書は、近日中に GCOE の人材育成に関するホームページ(<http://www.ees.hokudai.ac.jp/gcoe/careerup/index.html>)に掲載します。申請の締め切りは 12 月 18 日(木)です。